

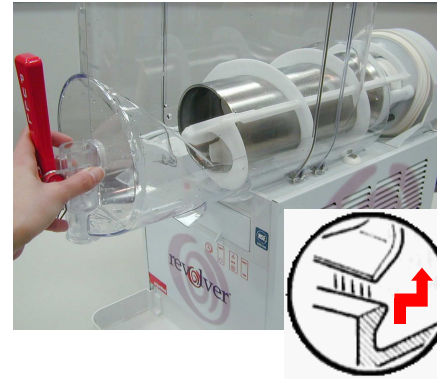
フローズンマシン 毎日の洗浄手順

～用意するもの～

- ・ボウル(フローズン抜き用)
- ・水差し ・バケツ
- ・食品用グリス



フローズンをとりきった後、
電源を切り、ぬるま湯または
水などで通し洗いをします。



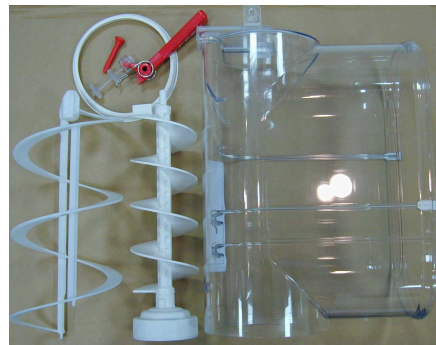
ボウルのノズル側を持ち上げ、
固定用フックを外してから
ボウルを水平方向に引き出し
ます。



ハネは強力マグネットで付いて
いるので、引き抜いて外して
下さい。



一番奥にあるパッキンも忘れず
に外し、本体・筒などは
中性洗剤やアルコールなどで
本体にかからないように洗浄
します。
※洗剤は薄めてご使用下さい。

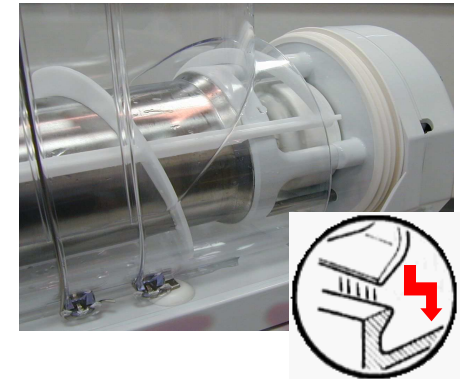


分解した部品を洗浄後、流水
ですすぎ、洗浄液をしっかりと
洗い流して下さい。
(パーツは全部で6点です。)



組み立ての前に写真の箇所へ
食品用グリスを薄く塗布
します。

※部品磨耗防止・異音防止の為。

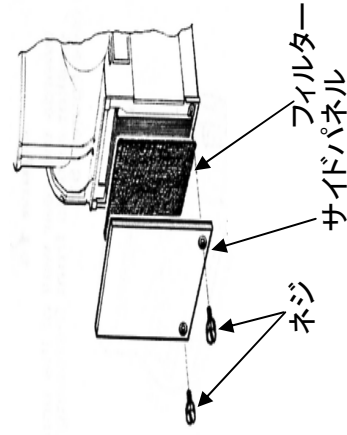


分解と逆にパッキン・ハネ・
ボウルの順に取り付けます。
固定用フックはしっかりと取り
付けて下さい。

これで洗浄完了です。

フィルター取外し手順

- ① 製品正面より右側にフィルターがあります。
 - ② サイドパネル下側のネジを2個外してください。
 - ③ サイドパネルを外してください。
- ※ 板金部品の端が鋭くなっている場合がありますので、必ず手袋をはめて下さい。



ご使用中

◎ フロージンをご使用の場合 (冷却スイッチ II 側)

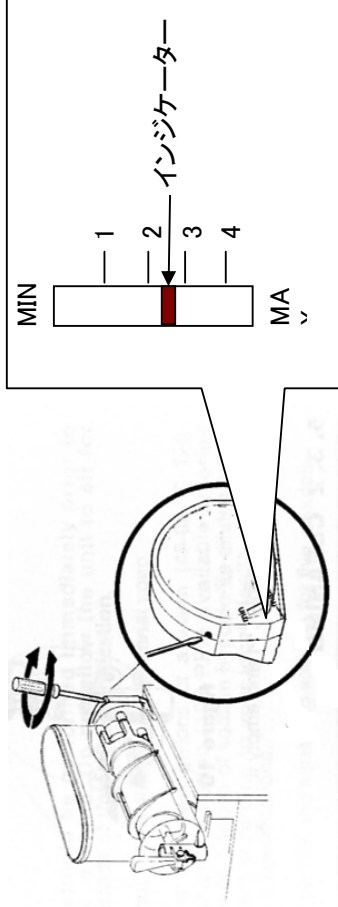
1. フロージンの抽出

ハンドルを手前に倒しますと、ノズルよりフロージンが出てきますので適量をカップに出してください。

2. フロージンの粘度調整

製品背面(下図)でマイナストライバーにて調整が出来ます。

- 粘度を高くする場合: 右回り(時計回り)に回すと粘度が高くなります。(インジケーターの位置を下げる)
- 粘度を低くする場合: 左回り(反時計回り)に回すと粘度が低くなります。(インジケーターの位置を上げる)



注) 粘度の初期設定は

工場出荷時に設定してあります。

3. フロージン冷却時間の短縮

フロージンが冷えやすくなる為のヒント

- ・ フロージンマシンに投入する前に、フロージンの原料を予め冷やしておく効果があります。

※ フロージンを冷やして固める為の時間は、周囲温度、フロージンの初期温度、フロージンの糖度、設定粘度などの多くの要因で変わりますので、ご了承ください。

4. ご使用中の注意

- ボウル内に凍結したフロージンがある場合には、冷却スイッチをOFFにしないで下さい。
冷却スイッチをOFFにするとかかいはんが停止して、フロージンが氷のブロックになる場合があります、この時に再びかかいはんさせるとモーターが損傷する恐れがあります、この場合にはフロージンが溶けるまで冷却スイッチをONにしないで下さい。
- フロージンの残量が2リットル以下(シリンドラーが半分フロージンで隠れる程度)にならないように、原料を都度追加下さい。